

曹青かわら版

平成二十六年
度前期号

平成 26 年 9 月 16 日

山口県曹洞宗青年会

会長 清木隆法



森江副会長による坐禅指導（“平成 26 年度緑蔭禅のつどい”より）

平成 26 年度 緑蔭禅のつどい

7 月 5 日（土）、山口市
禅昌寺様を会場に、“平
成 26 年度緑蔭禅のつどい”
を開催しました。

始めに開会式。次いで坐
禅、法話、中食をはさんで
午後からは講演、写経、坐
禅、閉会式という流れでし
た。

天候にも恵まれ、66 名の
方々にご参加頂きました。

◆法話

宇部市光善寺ご住職松
原徹心老師に“日々の暮
らしの中に正しさを”と題
して法話をして頂きました。

坐禅の重要性について

「坐禅が中心であり、坐
禅は考えるのに適していま
す。自分にとって良い姿勢
をとると、良い呼吸になり
血の巡りが良くなり、すな



警策を受ける作法



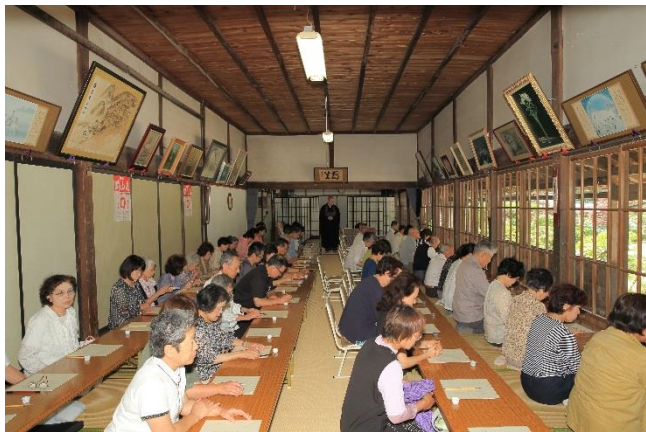
開会式



松原徹心老師による講演



坐禅



写経



中食

わち、体に調和をもたらす。作家の養老孟司さんも『坐禅は良いものです。坐禅は体が喜ぶ。』と言っています。

ただ、結果を求めるための手段としての坐禅ではなく、坐禅は安楽の法門です。」

◆講演

藍染作家、「藍と愛の会」会長 飴村秀子先生に藍染の魅力についてご講演頂きました。

先生はご自身が高齢なことから、技術と伝統の継承を考えて3年前「藍と愛の会」を設立されたそうです。

藍の効能について

「藍の手ぬぐいを傷口に巻いておけば、それが血止めにあります。藍には免疫を高める作用があります。抗生物質は自身の良い細菌まで傷付けてしまします。自分の免疫力を高めて治すのが一番です。」

講演を終えて気になった事を聞いてみました。

——講演中掛けられていた、その染物(下部写真中央)は何

ですか。」

「昔、膝の手術をして人口関節を入れた際に、藍の持つ治癒力に感謝して、レントゲン写真数枚を組み合わせる染物に起こしたものです。」

——先生は講演中、頻繁に「難しい」と仰っていましたが例えば我々素人がそれを行うのは不可能なのでしょうか。」

先生は微笑みながら仰いました。

「心があれば出来ます。」



飴村秀子先生による講演

◆参加者アンケート

左に参加者の年代別グラフを示しました。大学に広報した為、若い方にもご参加頂きました。

頂いたアンケートを一部紹介します。

「雨上がりのこと近くの川の水の音がかなりしていましたが、気になりませんでした。かつて私共は当山で先住様のもと、それぞれの授戒につきました。その時のこと、その場のこと等が思い出されました。」

曹青会員の各方丈様方と共に今日が過ごされたことを喜んで

ています。法話とても良い内容であり、少しでも実行に努めたいと思いました。」

○70代男性

「本日は有意義な一日を過ごす事が出来ました事、感謝しています。これからも自分を磨く事を忘れず精進していきたいと思えます。精進料理、とてもおいしくいただきました。有難うございました。」

○60代女性

「毎回講師多種多様で楽しみです。皆様に感謝致します。ありがとうございます。」

○60代男性

「10分くらいの坐禅はしたことがあったのですが、40分は初めてでした。それでもあまり長く感じませんでした。精進料理はなすの田楽がすごくおいしかったです(ちらしごはんも)。」

私は山口大学の掲示板を見て来たので、もっと大学に広報すると、若い方もいらつしゃると思います。」

○20代女性

全曹青創立40周年
記念式典

会長 清水隆法

5月20日・21日、全国曹洞宗青年会創立40周年記念式典、記念講演が曹洞宗檀信徒会館に於いて開催されました。

全国曹洞宗青年会は、昭和50年に全国の青年僧侶の熱意によって発足されました。"大衆教化の接点を求めて"の理念のもと、禅のつどいを全国に広め、現在もさまざまな活動を通じ、心豊かな社会の形成のため、青年僧侶の智と力を結集して事業が行われています。

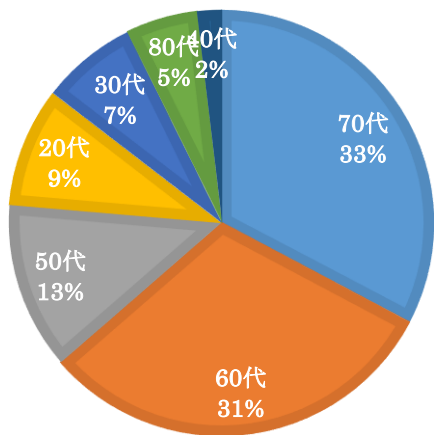
う向き合い活動をされてきたのか、当時の貴重なお話を聞かせていただきました。

21日には愛知専門尼僧堂堂長の青山俊董老師を講師にお迎えし"たつたいちどの生命をどういきるか"宗教とは、仏教とは"と題しご講演をいただきました。

全曹青では40周年記念事業として、研修事業"傾聴研修会"、一般対象事業"味来食堂"、僧食を学ぼう、青少年教化事業"全国徒弟研修会"、国際子ども禅のつどい、未来へ向けての大いなる足音"などが企画されています。

この度の全曹青40周年記念式典を通して、私自身大きな刺激を受けました。先人方の理念や活動に学び、今後の活動に繋げ伝えて参りたいと思います。

合掌



徒弟研修会

8月25日(月)～27日(水)の間、長崎・熊本にて曹洞宗山口県宗務所と青年会との共催で徒弟研修会を行いました。徒弟9名を含め、計20名が参加しました。

◆平戸・瑞雲寺

新幹線で博多へ。途中、道の駅「伊万里ふるさと村」にて昼食を摂り、昭和52年開通した平戸大橋を通り平戸島へ。



瑞雲寺山門。左奥に平戸ザビエル教会が見える

平戸島は平戸城・オランダ商館等が残っており、国際色豊かな城下町であったことが窺えます。

瑞雲寺では、坐禅・写経の後、ご住職西村承品老師にご法話をして頂きました。

「はるか昔、色んな動物が死に絶えた。何故人間が生き延びることが出来たか？それは難を逃れるために協力することが出来たから。

今、社会で求められているの



坐禅中

は心の良い人です。心の知能指数ⅡEQを育むことが大切です。それは言語力。聞く力ー相手の言うことを理解して聞いているか。話す力ー相手に解るように話せているか。

学校は厳しい。それは多くの人が一緒に生活をしているから。好き勝手に振る舞えば破滅に向かうだけ。相手の気持ち解るEQを育てて良い心を作ることが大切です。」



カルタ大会

◆平戸・旗松亭

法話後、掃除・記念撮影をして瑞雲寺を後にしました。バスで約5分。ホテル・旗松亭へ。

夕食後はカルタ大会を行います。ある意味、大人の方が真剣に取り組んでいたように見えました。

◆佐賀・吉野ヶ里遺跡

2日目はまず吉野ヶ里遺跡へ。広大な面積を有する弥生時代の遺跡。竪穴住居・物見櫓・墳丘墓内の資料館等を見学。



北墳丘墓内資料館にて

徒弟研修会日程

- 8/25 新山口駅—博多駅—伊万里
(昼食)
—瑞雲寺—平戸・旗松亭
(宿泊)
- 8/26 平戸・旗松亭—吉野ヶ里遺跡—
水前寺成趣園—阿蘇ファームランド
(昼食) (宿泊)
- 8/27 阿蘇ファームランド—阿蘇さるまわし
劇場—草千里—大宰府天満宮—
(昼食)
博多駅—新山口駅

瑞雲寺内

- 13:30 到着—開講式
14:30 坐禅—写経—法話
16:10 掃除—静座—移動



「金色の鯉がおるよ！」

◆水前寺成趣園

吉野ヶ里遺跡の後、熊本市の水前寺観光センターにて昼食。その後、隣の水前寺成趣園、通称水前寺公園を散策。巨大な池を中心とした桃山式回遊庭園です。その後、宿泊地の阿蘇ファームランドへ。

◆阿蘇さるまわし劇場

3 日目はファームランド近くのさるまわし劇場へ。40 分間観賞。中でも 4 m はあろうかという竹馬を一匹で駆け上り、乗りこなす様子は圧巻でした。



天神様に学業成就をお祈り？

山本昌輝君「吉野ヶ里遺跡。中(北墳丘墓内)が近代化されているのには驚いた。」西村和喜君「阿蘇ファームランドのドーム状の部屋に泊まったのが楽しかった。」西村侑喜君「さるまわし劇場。全部凄かった。特に竹馬。」松尾静夏さん「阿蘇ファームランドで動物と触れ合ったことと草千里で乗馬したこと。」吉川摩利子さん・有生子さん「阿蘇ファームランドのドーム還元浴。」河谷凌雲君「いろんな事。一つには決められない。」



烏帽子岳を臨む雄大な草千里にて乗馬体験

◆草千里・大宰府

ニュー草千里にて昼食。その後、草千里を散策。1,500 円で乗馬が可能です。120 cm の身長制限あり。馬は決められたコースを勝手に歩きます。

最後に大宰府天満宮へお参りして帰路へ。

◆一番楽しかったこと

博多駅に到着し、この 3 日間通じて一番楽しかった・印象に残ったことを 7 名の徒弟さんに聞いてみました。

中曹青連絡協議会 原爆慰霊法要

6月9日(月)、広島平和記念公園にて原爆慰霊法要、広島国際会議場にて講演、連絡協議会が開催されました。

◆講演

元全曹青会長、現在曹洞宗東日本大震災復興支援室主事である福島県成林寺副住職久間泰弘老師にご講演頂きました。



慰霊碑前にて法要を行う

「震災に会った人は自責の念にかられています。あの時こうしてればよかった、なぜあの人が亡くなつて自分が生き残つてしまったのか等。居住と生活が安定しないとうつになつていきます。そうした人たちにどのような心休まる一時を提供できるかが、我々の務めではないか。

ある方は震災後半年して初めて『急須で淹れた温かいお茶を頂きました』と満足そうに言われたそうです。

避難所に水は沢山あるものの、湯を沸かし急須でお茶を淹れる、そのひと手間をかけるだけの心の余裕がなかったそうです。

忘れてはならないのはボランティアは主人公ではなく、触媒であること。心がけるべきは避難所では宗教的儀式を行わないこと、信仰の自由を尊重すること。答えを与えるものではなく、寄り添って気づきを一緒に得ていくことができるかが宗教者の役目ではないかと。」

弁道会① お盆について

6月25日(水)、山口市禅昌寺様を会場に弁道会を開催しました。講師に山口市龍昌寺ご住職竹林史博老師をお迎えし、お盆についてご講義頂きました。

地方のお盆の風習について「房総半島周辺では7月7日から盆行事が始まり、マコモの葉で馬を作り祀っていた。



マコモを実際に持ってきて説明

馬を飼っていた家はどこもそうした風習があった。農馬の安全祈願だろう。」

棚経について

「江戸時代、キリシタン禁制にともなう邪宗門御改めで、仏教徒の証として、家に仏壇を祀り、お盆に菩提寺の住職がその確認の為に棚経が始まった、という説は広く知られている。

しかし、この説では理解出来ない事例が数多く見受けられる。ある地域では、戦前まで家には上がらず庭先で立つて読経していた。またある地域では、今でも盆棚を作り、それに対して読経して帰る習慣がある。こうした場合、家にあがることもないので、仏壇のあらためようが無い。

たまたま、棚経を江戸幕府が法制化してキリシタン改めに利用したことはあっても、棚経は盆棚を吊る儀礼であり、もともと古くから伝わる民俗行事であったと考えられる。」

中国曹洞宗青年会 東日本大震災支援活動

9月2日(火)～5日(金)
にかけて福島県福島市・南相馬市において中国管区青年会員17名(県青年会6名)による行茶活動が行われました。

◆9月2日(火)・5日(金)
移動日。2日夜は曹洞宗復興支援室分室スタッフとの懇親会に参加。

◆9月3日(水)
福島駅前の支援室分室に於いて、主事久間泰弘師による行茶における事前説明会が行われました。

「避難者は大別して4つのケースに分かれる。

- a) 戻りたいけど戻れない
 - b) 戻れないし戻りたくない
 - c) いつかは戻りたい
 - d) 戻れるけど戻りたくない
- a・bは帰還困難区域と呼ばれ50年経ても戻れるかわからない地域の人たち。自身の力



お守り作り。紐を通すのが一番の難関

ではどうにもならないことで無力感・無気力に苛まれている。
c・dは自主避難者。国から避難するように指示されてはいないけれど、健康面から自主的に避難している人たち。一切補助を受けておらず、経済的理由から戻らざるを得ないこともある。」

こうした人たちとどう接すれば良いか。

「基本的に解釈はいらない。話とお気持ちを聞かせてもらいたい。相手も答えを求めている

訳ではない。『目の前の人が全てであり、全てではない』という意識が大切。これは目の前の人に全力になることで会えない人たちにも口伝で影響が出る、ということ。

最後に、相手をげんりさせる接続詞ってわかりますか。『だけど』『でも』。

講義後、行茶中行うお守り作りの予行演習。

行茶活動は2班に分かれて行きます。午後から福島市笹谷の笹谷東部仮設住宅(182戸)にて活動。その後、分室に戻りレポート記入、反省会。

◆9月4日(木)

午前中、1時間30分程かけて南相馬市へ。南相馬市社会福祉協議会へ寄り挨拶。同市原町区にある小池長沼仮設住宅(200戸)へ。

午前中の行茶活動を終えて次に向かう前に、スタッフの内藤師曰く「是非お参りしてほしい。」との意向で同市鹿島区南海老にある観音像・慰霊碑へ。



観音像の高さまで津波が来たとのこと

海岸沿いのこの地域は15mの津波に見舞われ甚大な被害を被りました。参加者全員で諷経を挙げさせて頂きました。
午後は同市原町区にある高見第一仮設住宅(73戸)へ。
ここは主に同市小高区(避難指示解除準備区域)の方々が生活されています。

70代女性の話。

「盆・正月には子供・孫が顔を見せて来てくれる。仮設住宅は泊まれないから相馬に泊まる。お金かかるけど仕方ないね。」

●タイ山岳民族教育支援

クラフト販売状況●

4 / 8 等	県内寺院での販売	クラフト 456,	700 円
募金			500 円
5 / 27	国照寺	クラフト 30,	000 円
6 / 16	地藏霊場等	クラフト 33,	500 円
募金		18,	200 円
6 / 17	寺族研修会等	クラフト 146,	100 円
6 / 27	県梅花大会等	クラフト 140,	100 円
募金		66,	229 円
6 / 28	願成寺青空説法	クラフト 9,	000 円
6 / 30 等	各教区特派布教	クラフト 160,	700 円
募金		4,	500 円
7 / 5	緑蔭禅のつどい	クラフト 37,	300 円
募金		1,	230 円
7 / 5	光善寺清風講座等	クラフト 10,	000 円
募金		40,	455 円
7 / 8	梅花中国師範会	クラフト 24,	800 円
募金		6,	528 円

◆今後の行事予定

○梅花特派布教クラフト販売

9月29日(月)～10月3日(金)

各教区

○中国曹洞宗青年会中国大会

10月16日(木)・17日(金)

広島市

○弁道会③

10月25日(土)

岩国市 善福寺

○授戒会研修会

10月27日(月)

山口市 法明院

○戒弟のつどい

10月28日(火)

山口市 法明院

○緑蔭禅のつどい50周年記念本山参禅

11月8日(土)・9日(日)

福井県 永平寺

○浄土宗青年会合同研修会

11月20日(木)

山口市 禅昌寺

○寺庭婦人セミナー

11月25日(火)

岩国市

○年末懇親会

12月上旬

山口市

○弁道会④「寒行托鉢」

12月23日(火)

周南市

○シャンティ学生寮訪問視察

H 27 年 1 月

タイ・パヤオ

○涅槃会坐禅会

H 27 年 2 月

○弁道会⑤

H 27 年 3 月

岩国豪雨災害

8月6日(水)午前、岩国市岩国付近で1時間に100mmを越す激しい降雨がありました。浸水被害の住宅が多く、翌日には岩国市社会福祉協議会がボランティアセンターを開設しました。

13日には青年会備蓄のタオル400枚を提供しました。また、18日から実際に活動する予定でしたが、募集が岩国在住者のみとなり断念しました。ボランティアセンターは一定の目処が立ったため、8月24日を以って閉所になりました。

○編集後記

9月5日福島からの帰路、東京駅にて。ドクターイエロー(正式名:新幹線電気軌道総合試験車)に遭遇。連写すること70枚。幸運でした。

【お問い合わせ】

山口県曹洞宗青年会事務局
玖珂郡和木町和木 1・6・18

電話 0827・53・4334
安禅寺内 村上邦明